

中酪情報 No.555

2015年1月31日発行
毎号奇数月末発行

発行：一般社団法人 中央酪農会議
編集・発行人：内橋政敏
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
一般社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295
<http://www.dairy.co.jp/>
(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

編集後記

本年も「中酪情報」の御愛読をよろしく申し上げます。

“午年”から“未年”となった本年はどんな一年になるのでしょうか。

昨年は、バター不足に象徴されるように、生乳生産基盤の脆弱化問題が国民の関心事項となった一年だった。本年は、生乳生産基盤強化の観点から、わが国酪農の中長期的ビジョンと振興策の構築が求められる一年となろう。

中国の後漢時代（西暦100年頃）、許慎（きよしん）によって編纂された最古の部首別漢字字典『説文解字』（せつもんかいじ）によると、「未」は「味」（“あじ”の意味）で、果実が熟して滋味が生じた状態を表しているという。後に、覚え易くするために動物の「羊」が割り当てられた。

農業者、農業団体等を巻き込んで、政府による農業の競争力強化をめぐる議論が白熱している今ほど、生乳生産基盤強化のための議論を尽くし、関係者が納得のいく酪農発展の道筋を示す好機はないのではないかと。議論を形にする機は熟したと言えよう。